

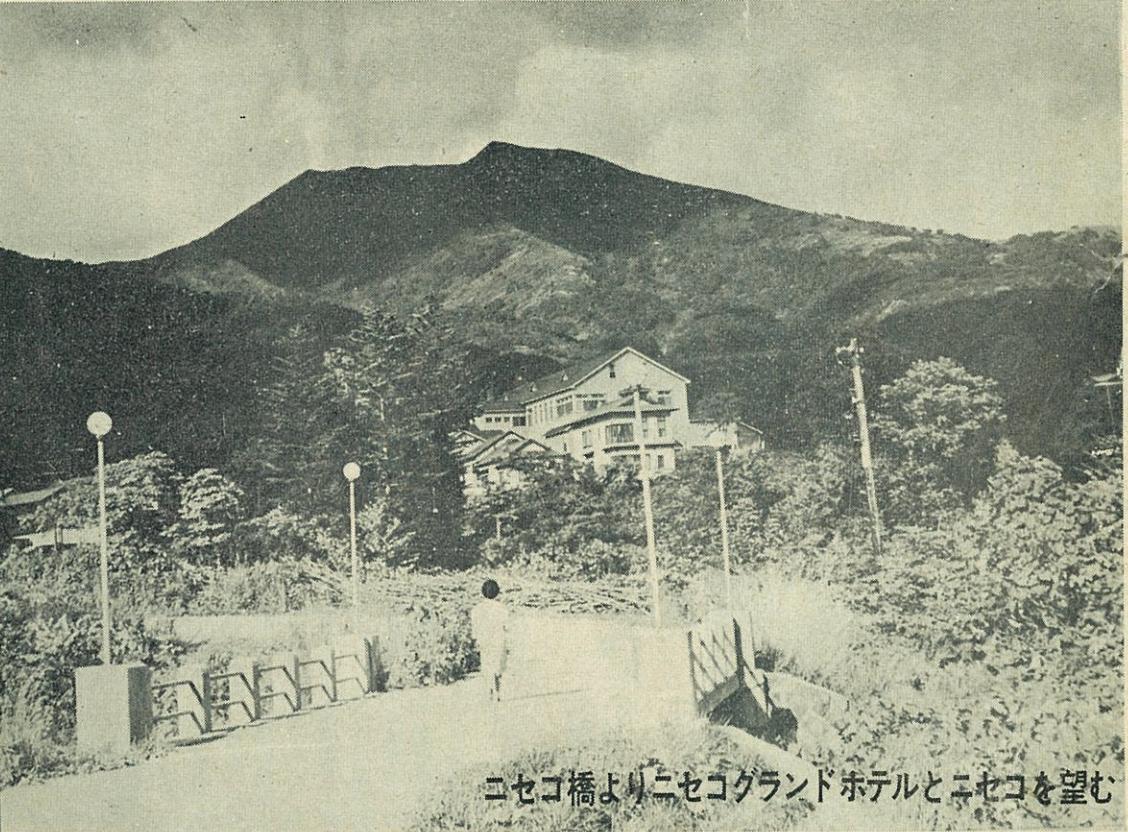
2825

【1】

歓迎  
第12回全後志婦人大会

昭和38年7月26日・27日  
於 狩太中学校

広報かりぶと



ニセコ橋よりニセコグランドホテルとニセコを望む

「かりぶと」の地名の由来

狩太は、もと「マツカリベツブト」原野といい真狩村に属していましたが、明治34年分村のとき、その「狩」と「太」とをとつて狩太と名づけられたもので、真狩太はアイヌ語で「マツカリ」は（山のうしろを廻る）「ベツ」は（川）「ブト」は（川口）の意味で、全体で「山のうしろを廻る川口」を意味しています。すなわちマツカリ川が尻別川にそいでいるところをいつたものといわれています。

また、ニセコ（ニセコアンスプリ）は「山」深山にあつて川岸にかぶさるようにして出ている崖、懸崖、絶壁の意といわれています。

有島武郎石碑

市街より三杆の地点に「父有島武之開拓子武郎之開放す」と記念石碑がある。

旧石器、細石器遺跡

旧石器は数万年前、即ち縄文文化時代以前の遺跡、細石器は旧石器文化と縄文文化との中間時代の遺石が町内各所より掘出された。



協力が大切だと知る

お母さんの出場の魚

本当に榮しかつた、喜び

の一日でした。

してできるように仕向けたい

しきりに頑張つていました。

したが、最後まで頑張つ

つっていました。

つてきました。

お母さんの出場の魚

をお母さんと一緒に

一緒に楽しんで

いました。

お母さんと一緒に

一緒に楽しんで

いました。



保育園

六月二十五日、午前六時花火が威勢よく朝の静かさを破つて打ち上げられました。雨のために延期され、いただけに、待ちに待つていた運動会の日です。十時までには、運動足袋紅白の鉢巻をきりりとしめた軽装の園児たちが、お母さんともぐり嬉しそうに園庭に参集し、開会式のあと幼児体操が初まる頃には、園庭の周囲はお母さんや観衆の顔でぎッシり。

個人競技の三〇メートル走、色紙ひろいには練習中は逃げ廻つて加わらなかつた子も、この日は人が變つたようになり、一生県命です。出発線の上に並んで、笛の合団を待つあの真剣なまなざし転んでも最後まで競技を棄てない子供たち、こんな姿を見ると今までの苦労がいづべんに吹つ飛ぶよう。

円形になつてみんなで仲よくする遊び、手をたゞきましよ、一休さん、でんわをかけましよ、くりくりちゃんと、もりたくさんの児童が入園後もないので、よくできたと拍手をしていました。勝ち負けも先生方の采配で同点。出場毎に婦人会の賞品でギッシリ。生活には協力がどんなに体得できたようなりました。勝ち負けも先

生方の采配で同点。

品係の方から、こほうびとして、おめん、ヨ

ーヨー、時計、玉子チ

ヨコレート、色紙など頂いて至極ご満悦の子供たちも、終り近くには相当疲れがでてきまつっていました。

本当に榮しかつた、喜びつていました。

